

令和3年度第2回大阪府立万国博覧会記念公園指定管理者評価委員会 議事概要

1. 日 時 令和4年3月8日（火曜日）午前10時00分から12時00分まで

2. 場 所 大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 第2応接室

3. 出席者

加我委員長、清水委員、伊藤委員、田中委員

以下の委員は、オンラインでの出席

玄野委員、権野委員、藤本委員

4. 議題

(1) 令和3年度 公園の運営管理の現状について

(2) 令和3年度 指定管理者の評価について

(3) 今後のスケジュールについて

(4) その他

5. 主な議事内容

(太字：委員 細字：事務局)

(1) 令和3年度 公園の運営管理の現状について

(事務局より「資料4-1 令和3年度 公園の運営管理の現状について」及び「資料4-2 万博の森における安全対策について」に沿って説明。)

○質疑については、議題2における事務局からの説明を踏まえて併せて行うこととする。

(2) 令和3年度 指定管理者の評価について

(事務局より「資料5 令和3年度 指定管理業務評価票(案)」に沿って説明。

一部において、「資料6 令和3年度 指定管理者アンケートについて」及び「参考資料3 指定管理者経営状況分析表【非公表】」等を用いて説明。)

【非公開にかかる議事】

○指定管理者経営状況分析表にかかる審議

【公開にかかる議事】

○NO.9の「草地管理、芝生地管理、樹木管理、草花管理、花木等管理等について、良好な管理を行ったか。」について、事故が起きることを防ぐことは困難であり、起きたときにどう対処するのか、起きて被害のないようにすることが重要。安全が確認できるまでは必要箇所を全て閉め、点検終わるまで入れないとするのは違和感がある。台風が去った後に一時的に閉める等であれば理解できる。

逆にNO.10「点検・補修・修繕を適切に行ったか(法定点検、日常点検、修繕の実施について確認)」にかかるソラードについては、なぜそこまで放置されて

いたのか理解できない。こちらこそしっかり点検のために閉めるべき。

【事務局】

⇒委員ご指摘の通り自然物において100%の安全確保は困難。そのような中でも来園者の方々が安全に園内散策を楽しんでいただけるよう指定管理者と府が連携して取り組むことは必要。

現在の対応策については、万が一倒木が発生したとしてもローピング等の設置により一定避難時間を確保し、また園路より奥まった樹林地には入らないよう柵や掲出の設置を行っている。これらの対応等を行い、一定の安全にかかる担保が確認された箇所から随時規制を解除していきたいと考えている。

○NO.10「点検・補修・修繕を適切に行ったか（法定点検、日常点検、修繕の実施について確認）」について、ソラードにかかる点を府は評価において指摘しているところ、指定管理者は修繕したとの記載しかない。問題意識が欠如しており、残念である。

○修繕までの対応に時間を要しており、早急な対応が求められる。やはり安全管理は重要。

○評価内容については異論ない。

2025年万博に向けてもそうだが、何か大きなビジョンを持って運営されているというようには見えない。指定管理者に任せっきりとするだけでなく皆で考え実行することが大事だと思う。

○アンケートにあったが、ホームページが見にくいとの意見はもったいない。個人的にも見にくいとは感じている。インスタグラムのようにリアルタイムの反映も重要。ペットの同伴を求める意見についても貴重。キャッシュレス化推進も挙げられているが社会から求められていることに応える公園であってほしい。

【事務局】

⇒ペット同伴を求める意見については、アンケートに限らず府や指定管理者にも要望が上がってきており、両者間でもどのような形で対応していくのかについて協議を実施しているところ。

○ペットが苦手な方もいる。大型犬であれば、子どもや小型犬を連れていけば危険。有料公園でペット同伴を認めるのは個人的には違和感がある。

○追加調査により詳細なニーズを求めることが必要ではないか。

○アンケートの対象者は入園者で間違いないか。

【事務局】

⇒間違いない。

○有料でない公園への来園目的としては、ウォーキングや散策等がある。万博公園のように有料でありながらも健康増進等の活動目的で来園されている方々がいるという点は興味深い。一方で、公園周辺をジョギング等されている方も多く、彼らは公園利用者ではないが、万博公園があるからそこで活動されているといえる。今後の公園の運営については、そういった方々の視点も踏まえていただきたい。

○2025 万博開催にあつては、SDG s の貢献についても謳っている。その点、万博記念公園はこれまでの 50 年、SDG s といった観点からも様々に貢献していると感じる。よって、それを打ち出していくことも大事であり、そこをもっと評価していくことも必要。

○先日、国立民族学博物館に用事があつたので園内を歩いたが、本当に閑散としていて驚いた。エキスポシティはコロナ禍であっても多くの人で賑わっているのにどうしてなのか。インパウンドの復活の目途が立たないなかでなんとか公園への人流増となる取組み、広報手法や他施設との連携がないかぜひ指定管理者には検討していただきたい。

○NO.21「安定的な運営が可能となる財政的基盤」について、指定管理者が自己評価欄において、「制度の改定など抜本的な見直しが必要」と記載されている。これは指定管理者の本音なのかもしれないが、具体的にどのような改定が必要なのか確認はしてみたい。

○今回初めて総合評価が「A」となったのか。

【事務局】

⇒その通り。

昨年度は倒木事故の評価の影響もあり「B」評価。

一昨年度も「B」評価。

【事務局】

⇒本評価は年度の評価となっており、本日以降 3 月 31 日までに評価の変更に相当する事象が発生した場合は、別途ご相談させていただく。よろしいか。

【各評価委員】

○異論なし

(3) 今後のスケジュールについて

(事務局より「資料7 令和4年度 スケジュール(案)について」に沿って説明)

【各評価委員】

⇒特に意見なし

以上